

2021-22 年度 R1 会長 シェカール・メータ (カルカッタ: マハナガール RC) 第 2820 地区ガバナー 新井和雄 (下館 RC)

国際ロータリー 第2820地区(茨城) 第1分区 日立港ロータリークラブ週報



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



2022. 5. 26

第 2013 回例会

会長 佐藤邦裕 会長レフト 山口憲生 幹事 菅原光雄

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12



6月はロータリー親睦活動月間です

会長挨拶 佐藤邦裕 会長



皆様こんにちは。21日の東海原子力発電所見学会におきましては、勝山会員、照沼職業奉仕委員長の尽力にて開催されました。お礼申し上げます。ありがとうございました。今日の世界規模でのエネルギー・地球温暖化問題を考えさせられる見学をさせていただき、参考になり、更に考えさせられる見学会でした。また、現地における災害対策も、高さ 20m を超える津波防潮堤をつぶさに見学し、想定される最大級以上の対策であるとの説明に聞き入った幸いです。

今回の職場見学会は、エネルギー、温暖化、災害対策を同時に考えさせられる、良い勉強見学会だと思いました。

例会報告

開会点鐘 佐藤邦裕 会長
R ソング 「我等の生業」

本日のビジター紹介 今野紀仁 親睦活動委員長

本日はいらっしやいません。

出席報告 鈴木崇久 SAA

会員数	出席数	出席率
37	23	67.65%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
(本日出席 1 名)	11	100.0%

本日の食事メニュー: 刺身&フライ

地区大会表彰者

ロータリー財団 (2021.1.1~2021.12.31)

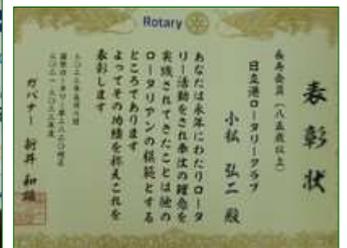
新ベネファクター 佐藤邦裕 会長

米山記念奨学会 (2021.1.1~2021.12.31)

- 第 19 回米山功労者メジャードナー 鈴木起一 会員
- 第 10 回米山功労者メジャードナー 長谷川満利子 様
- 第 3 回米山功労者マルチプル 島田洋次 会員
- 同 島田 裕 会員
- 第 2 回米山功労者マルチプル 佐藤邦裕 会長
- 第 1 回米山功労者 鈴木崇久 会員

2021-22 年度長寿会員 (85 歳以上)

西暦 1937 年 4 月 8 日生 小松弘二 会員
おめでとうございます。



報告

【受信書簡・メール】

- ・ 会員基盤向上セミナープログラムの送付
- ・ 第 1 回日立港まつり実行委員会開催のお知らせ

委員会報告

【小泉浩一 会員】

本日、例会アフターゴルフ会を開催します。12名の参加をいただきありがとうございました。残念ながら岩田さんは怪我のため、五来さんはご不幸のため欠席です。午後 5 時まで使用できますので納得いくまでプレーしてください。

【職業奉仕委員会 照沼明美 委員長】

5月21日(土) 職場見学会は、勝山会員のご尽力、佐藤会長のバス送迎のご厚意により実施することができました。あらためて災害抑止の重大性を感じ、緊張の中、大変勉強になる見学会になったと思います。ご協力ありがとうございました。

【山口憲生会長エレクト】

5月22日(日)に開催された「2022年度規定審議会結果報告」(高橋健吾パストガバナー)の概要(抜粋)の説明をします。

1. 中核的価値つまり多様性、公平さ、インクルージョン(日本語訳はいろいろ。包括性、包摂性、開放性など)を推進できるような会員基盤構築の努力をする。
 2. 会員はその所属クラブ対象地域に住所・所在地がなくてもよい。また、どの地域の会員からでも当該クラブ会員推薦できる。
 3. ローターアクターは RI 委員会の委員になれる。
 4. RI 理事会はゾーン内のセクション変更許可できる。
 5. 人頭分担金が徐々に増額 23-24年度半期 37.5 ドルから 24-25年度 38.5、25-26年度 39.5 ドル。
 6. 年次報告の財務諸表は米国会計基準とする。
 7. 立法・決議提案権について改訂し、クラブから直接提案できる。また、緊急提案は前回審議会以降発生事象に限る。
 8. クラブ管理の試験的プロジェクトをオーストラリア、ニュージーランドで行う。(地区編成の変更。規模縮小)
 9. 奉仕の第 3 部門に「地域社会の積極的平和を目指すこと」追加する。
 10. 事務総長への出席報告をやめる。(よって地区報告もやめる。ただし大野ガバナーエレクトは各クラブでの出席管理は推奨。)
 11. 出席免除に理事会の承認不要。(年齢と加入歴合計 85、クラブ歴 20 年のみで OK。)
- 規定改定後の手続便覧は本年 12 月頃配布予定。

本日のプログラム

私と RC 古川英希 さん
『大みかゴルフクラブ』

2019 年 4 月以来、2 度目の『私とロータリー』となります。私のロータリー歴等について



は前回と 2021 年 9 月の卓話でもお話いたしましたので、今回は、本日、例会終了後にラウンドする『大みかゴルフクラブ』についてお話ししたいと思います。現在では『大みかゴルフクラブ』

となっておりますが、日立製作所の創業者、小平浪平氏により、社員の健全娯楽と外国来賓の接待を目的として、ゴルフ場の設計を当時 20 代の井上誠一氏、クラブハウスの設計は東大安田講堂等を設計した岸田日出刀氏に依頼し、着工、昭和 11 年(1936 年) 10 月 11 日に『日立ゴルフ倶楽部』として茨城県初のゴルフ場として開場しました。

井上誠一氏の設計したゴルフ場では 4 番目に古いゴルフ場で、ちなみに県内でも有名な『大洗ゴルフ倶楽部』は 9 番目、1953 年の開場になります。(現在、茨城県では一番古いゴルフ場) 18 ホール、6650 ヤード、パー 74 の大みか神社麓から海際を走るチャンピオンコースとして作られたゴルフ場も昭和 18 年 7 月、戦争激化により『日立ゴルフ倶楽部』は解散し、コースは農地化され芋畑になってしまいます。昭和 20 年 8 月敗戦後、農地化したコース 19 万坪は農地改革で政府買い上げとなり、残ったのはクラブハウス前の 1 万 8 千坪だけだったそうです。

その後、昭和 25 年 3 ホールのショートコースから戦後の大みかゴルフ場は再スタートします。昭和 28 年には 6 ホール増設し、昭和 29 年に大洗ゴルフ倶楽部が開場したことが刺激となり、昭和 30 年に大みかゴルフ同好会を結成し、昭和 35 年に 6 万 7 千坪を買戻し、昭和 37 年 8 ホール 1800 ヤード、パー 28 に改造拡張し、ほぼ現状に近いコースとなりました。

『日立ゴルフ倶楽部』当時のインコース付近の敷地を使用し、1936 年の開場当時のコースとは違いますが、コース各所に松林が配置され、空中にもハザードがある井上氏の設計を感じさせるホールロケーションだと思います。現在は、パー 5、4、3、5、4、3、の 6 ホール、2028 ヤード、パー 24 のコースを 3 周して 6084 ヤード、パー 72 としてプレーできます。(7 番、8 番のパー 3 ホールもあります)

日本に数あるショートコースゴルフ場(8、9、12 ホール)の中でも『大みかゴルフクラブ』は

トップクラスのゴルフ場です。そして、8ホールしかないためゴルフ場利用税がかからないため、プレー料金も通常プレー(6ホール×3周)で3,200円プラス食事代となっています。スコアより大切なゴルフの魅力を綴った、『脱俗のゴルフ』(鈴木康之著)によると、日本各地にあるコースの中でも、行けるものなら明日にでも行きたい、隠れた宝石(ヒドゥン・ジュム)と呼ばれるコースと記してあります。(ゴルフ場ガイドには6ホールしかないのので載っていません)

また、コース内は目土袋の携行を励行し、砂入れしていないディポットマークが一つとして見つからなかったのは、後にも先にもここ『大みかゴルフクラブ』だけだそうです。

本日は例会終了後、もし戦争がなく『日立ゴルフ倶楽部』が令和の今日、18ホール存続していたことを想像し、手引きカートを引きながらのプレーを楽しみたいと思います。(私自身は2005年12月3日以来のラウンドになります。)

P.S. 久しぶりに『大みかゴルフクラブ』をラウンドしましたが、コース内のディポットマークにはすべて砂入れされており、とても整備が行き届いておりコースの状態も最高でした。ゴルフ同好会として第2回、3回の例会アフターゴルフの開催を企画出来ればと思います。



昭和11年のコース風景



会員卓話

笹尾 光 さん

『茨城キリスト教学園紹介』



いつも茨城キリスト教学園を支えてくださりまして本当にありがとうございます。まずは感謝を申し上げます。早いもので私がロータリークラブに入会して一年が経ちました。何の役にも立てていませんがイベントなど皆様と一緒するのが喜びとなって参りました。本日は初めての卓話ですので、まずは当学園の最近の動きをお伝えしようと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

学校法人 茨城キリスト教学園 基本データ

創設 1947年(昭和22年)
～3つのクリスチャンの流れが合流～
建学の精神 隣人愛に基づく全人教育



スクールモットー

Peace Truth LOVE ～平和と真理と、愛～

Peace
Truth
LOVE

平和と真理と、愛

2017年(創設70周年)に制定



平和 心の平安
真理 真実を追求姿勢
愛 隣人を愛し
愛の中に生きる

学園の構成



大学
大学院
4学部7学科
3研究科
2447名

中学校
高等学校
1084名

大学付属
認定こども園
みらい園
せいじ園
275名

在籍者数 3806名

卒業生数
70000人超え
三世代のご家庭も



文学部



文化交流学科 児童教育学科 児童教育専攻 現代英語学科 児童教育学科 幼児保育専攻

生活科学部



心理福祉学科 食物健康科学科

看護学部



看護学科

経営学部



経営学科

Vision for the future

- ・愛によって互いを支え合える人
- ・想像を超える魅力的な教育
- ・グローバルな心
- ・地域・社会への貢献

学園の広大なキャンパスの境~ボーダーがなくなり、大甕の地が、県北地域が、いながらにして世界につながっている場所に

IC 大学のデータいくつか

学科の「学び」の満足度 96.5%

国際交流と地域交流の満足度 97.3%

2021年度就職実績 98%



教員採用試験合格者 96名

最近の取り組み

- ・学園広報の強化
従来のポスター、シネアド等に加え、HP発信、メディア（新聞・TV）での露出が増加




IC 高校のデータいくつか

選んだ理由は？

- ・駅から近い
- ・ICT教育が充実
- ・緑のキャンパス
- ・新校舎ができた
- ・大学もある



⇒第一志望が増えている

最近の取り組み

- ・新校舎 大学・高校 同時2棟着工
~新たな学びの展開がはじまる



海が見える



森につながる

IC 中学校のスタイル

文武両道
Bunbu・Ryodo






by R.Voss校長



大学1号館



5階 グローバル・ラウンジ
外資系オフィス風の自由な学びの場
“多言語エリア”と地域の方々専用の教室を備える



高校4号館

1階 多目的ホール STEPS

斜面を活用したステップが建物の外まで伸びる
地域で活躍する人の声を聴き 探究・発表の場



生徒の反応は…

使いやすい!

居心地がいい!

緑の中のラーニングスペース

ロッカーを備えた長い廊下

最近の取り組み

・魅力的なプログラム (大学)

- 1) e-Learningによる
TOEICスコアアップ
- 2) データ・サイエンスプログラム
～全学部学科で履修可能に!
- 3) 多言語エリアでの
実践的コミュニケーション
～専門の教員を採用

最近の取り組み

留学生が戻ってきた!!



5月17日チャペルでのスピーチの様様
インドネシアとキルギスの留学生が自国の文化を紹介

インドネシア、キルギス、韓国、ウクライナ、ベトナムから
13名が来日

ウクライナから留学生が到着

提携校のリビウ大学から



留学生 マルタ・イリョさん

現代英語学科ジャブコ・ユリア講師

留学生が県内企業に就職!



関彰商事株式会社
ヴィさん



株式会社ユニキャスト
リンさん

選考の理由は…

日本語能力+コミュニケーション能力の高さ
⇒ 海外から地域へ のモデルケース



茨城ロボッツと連携協定



提携式の模様



IJグループ茨城ほか6者での連携プロジェクト

茨城ロボッツが食を通じて強くなる 青少年に「食」の重要性を伝える
⇒ 食物健康科学科教員2名が栄養カウンセリング より強い、怪我をしない体に
ホームゲーム終了後の補食メニューを作る

リカレント教育

リカレント=繰り返す・循環する ⇒ 学びなおし
recurrent

学校から離れ社会に出た後も、それぞれ必要な時期に
再び教育を受け、仕事と教育を繰り返す ⇒ 専門領域の深化

* 日立市との「グローバル・イングリッシュ研修」

日立市役所の職員に英語で窓口対応ができるように演習
～ネイティブの教員などが実際のケースを想定

◎参加者40名 37名が外国人への「おもてなし」力UPを実感

*

IC with U

県北地域をフィールドに「多文化協働(共生)社会の構築」を
進めていく、学園を横断したプロジェクト

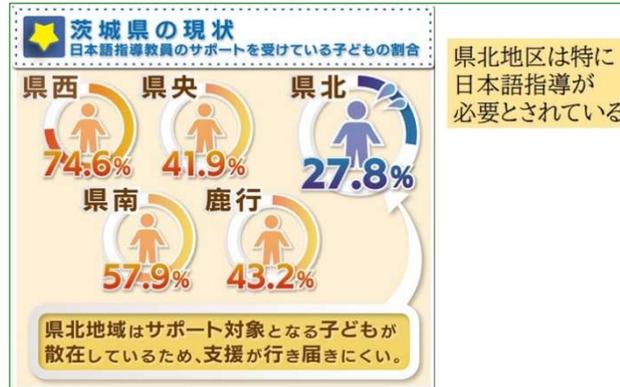
取り組みの三つの柱

- 1) 外国にルーツがある子どもたちへの 学習支援
- 2) 地域市民への 異文化理解・浸透
- 3) 学習支援ができる人材(多文化クリエイター)の育成





茨城県は全国で10位



異文化理解で学生・留学生が小学校へ

オンライン参加の留学生も

外国人は隣人でありパートナー、住みよい街をつくる共同体の一部です。これからの私たちには“多文化協働(共生)社会”で生き抜く力が必須となってきます。

地域国際交流センター長 岩間信之教授



職場見学会報告

職業奉仕委員長 照沼明美

この度、職業奉仕委員会では、職場見学会としまして、5月21日(土)に東海第二発電所の視察をさせていただきました。

勝山会員より、このような視察会が出来ることを教えていただいて、実施出来たことに感謝いたします。会員20名が、午前と午後の部に分かれて、視察させていただきました。

佐藤会長に、美かのさんから送迎バスを出していただいて、大変ありがたかったです。

原電バスに乗る前には案内の矢沢さんが、笑顔で出迎えてくれて、バスの前で記念写真を撮ってくださり、サービス満点でした。

原電東海テラパークに到着し、概要説明を聞いて、身分証明書を提示し、時計、スマホなどは持ち込めず、荷物も置いて、トイレは1時間半行けないとのことで、トイレを済ませて出発しました。いよいよ、東海第二発電所を視察するに当たり、緊張が走りました。指に爆発物についていないか、指のチェックです。タバコやマッチは大丈夫ですか?と聞いていた方もいます。全員大丈夫でした。

次に、金属探知機を通過します。周囲には10人くらいの警備の方が私達を見えています。

何かあれば逮捕されそうな怖さがありました。私は金のネックレスをしていたのでドキドキでしたが、無事通過しました。しかし、2人の男性会員に金属反応が出て、全身チェックされていました。お金持ちだから、何か金に反応したのだろうと冗談を言いながらも、ハラハラドキドキしました。結果的に全員無事、クリアして中に入れて良かったです。

建物の柵にはバラ線が巻かれており、侵入者が入れないようにになっています。鳥も止まれないように、先が尖っているのには驚きました。

20メートルの防波堤の建設中で、ガッチリした迫力がある杭が何本もそびえたっていました。また、原子炉の崩壊熱を除去するために、熱交換器に海水を送るポンプとトンネルを地下に設置する工事を見学しました。これにより地上で何かあっても冷却出来るそうです。

安全性向上のために、様々な取り組みをされ

ていることがわかりました。

普段お目にかかれない、使用済燃料貯蔵建屋で、使用済燃料に実際触れみて、あったかいなと感じました。大変貴重な体験をさせていただきました。私は、東海第二発電所に入ったのは初めてでした。最初で最後かもしれないと思った時、この貴重なチャンスに「どうぞこの東海第二発電所が未来永劫、平和でありますように」祈りを捧げて参りました。

東海第二発電所の見学はほとんどの方が初めてで、良かったとおっしゃっていました。

コロナ禍で、去年は職場見学会が出来ませんでしたが、今年は身近な東海で貴重な体験をさせていただきました。

勝山会員、ご紹介いただきどうもありがとうございました。





今週の会場の花
 “てまりそう”
 花言葉：純粋な愛

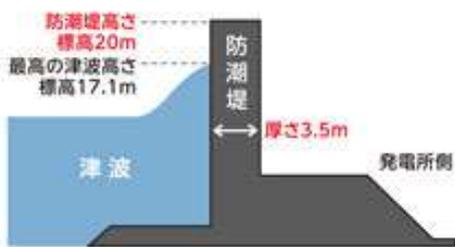


今後のスケジュールのご案内

- 6月 9日(木) 12:30~ 美かの
「第9回クラブ協議会 委員会活動実績報告1」
- 6月 16日(木) 12:30~ 美かの
「第10回クラブ協議会 委員会活動実績報告2」
- 6月 23日(木) 18:00~ 美かの
「最終例会」
 同 17:30~ 美かの**「第13回理事会」**
 出席者 2021-22 & 2022-23 理事・役員
- 7月 7日(木) 12:30~ 美かの
「第1回クラブ協議会 会長方針等発表」

●津波対策防潮堤設置工事

想定される最大の津波が襲来しても津波が敷地に流入しないように、発電所の周囲を取り囲むように防潮堤を設置します。高さ海側が標高 20m、側面が標高 18m。東北地方太平洋沖地震の知見などを踏まえた津波評価の結果、防潮堤に到達したときの津波の最高水位を標高 17.1m と設定し、それよりも余裕を持たせた高さとします。構造厚さ 3.5m の鋼管杭鉄筋コンクリート基礎となる鋼管杭を岩盤まで打ち込み、地震や津波に対して防潮堤が耐えられる構造とします。



編集後記

『忘れ物』:先日、東京へ出掛けた帰りに特急電車へ置き去りにされてしまった家内のスマホがいわき駅にたどり着いてしまった。駅員さんに「着払いで自宅へ郵送」or「自力でいわき駅に受け取りに行く」の選択を促され、家内は「いわき駅に行きます。」と即答し、車でスマホをお迎えに行くことになってしまった。常磐道高速でいわき方面に走るのは久しぶりで、かつ、いわき駅構内に入るのは郡山の仕事をしてきた時以来の約 25 年ぶりで懐かしかった。(当時は、常磐線いわき駅に降りた後、磐越東線に乗り換えて郡山へ移動していた。) スマホを受け取り家へ戻り、家内の一言「いいドライブが出来たね。」に「ん？」と思いつつ、忘れ物が無事に戻ってきたので、まあ良しとした。(ま)

その他のお知らせ・連絡事項

★★ 行事の申込受付案内 ★★

◆最終例会親睦ゴルフコンペ

6月 23日(木) グランドスラム CC
 現地集合 8:30 スタート 9:07

発行：日立港ロータリークラブ(翌例会日)

編集：会報・雑誌委員会

松橋好徳 糸賀正俊 五来美奈

神山靖基 中野紀子(事務局)

URL：<http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail：info@hitachi-ko-rc.com